背丈を超える葦 守山川 抜本対策を

小牧議員、松葉さんが県と交渉

「確認して刈り取る」と約束

日本共産党湖南地区議員団は、１６日、県南部土木事務所に対し、各市の道路・河川等の改修要望を行いました。

この日、小牧一美議員は、長年の懸案となっている元町自治会地先を流れる「守山川」のヨシの雑草対策、赤野井湾の水質浄化・水草対策について、その解決にむけた県の考え方を質しました。ふれあい公園裏の守山川は、大人の背丈にもなるヨシが生い茂り、毎年地元の自治会がその対応に苦慮しています。現地の写真を示しながら実情を説明する小牧議員に、応対した県河川課長は「現地を確認して、すぐに刈り取る。根こそぎ除去など、根本的な解決ができないか地元と協議する」と答えました。また、赤野井湾の水質対策については、「第６期保全計画の中で流入河川の水質調査を行っている。引き続き赤野井湾水質悪化のメカニズムの解明も行っていく」と答えました。他市からの河川管理の要望に対しても、積極的な意気込みが示されるなど、多くの成果が実感できる交渉となりました。松葉栄太郎日本共産党守山市くらし対策責任者も同席しました。

日本共産党湖南地区議員団

「安全神話」と決別し 原発依存から自然エネルギーへ

小牧議員が一般質問

日本共産党の小牧一美議員は21日、市議会本会議で、「福島源発事故を受け、地域防災計画の見直しを」「重度の障害のある子どもと保護者の支援について」「中学校給食の実施について」「生涯学習の施設の充実」など5項目の質問をしました。

収束に向かうどころか、ますます事態が深刻さを増す福島原発の放射能漏れ事故。あらたに「計画的避難区域」が指定され、「見えない放射能」に対する不安は広がる一方で、復興の足がかりさえつかめていません。小牧一美議員は、21日の一般質問で、深刻な福島原発事故をふまえ、「すべての原発を総点検し、安全対策を講じること」、「隣の福井県にある美浜原発老朽炉の運転中止、敦賀原発の新増設計画の中止、もんじゅの再開中止」、さらに「安全神話と決別し、原発依存のエネルギー政策を抜本的見直し」を、国に働きかけるべきと質しました。また、守山市地域防災計画に原発事故を想定した対応を盛り込むべきなど、市長に5点の質問をしました。

詳細は次号で

国民平和大行進 守山入り

平和市長会議に加盟
核廃絶署名に宮本市長が賛同署名

核廃絶と世界平和を求め、全国から広島まで歩き続ける「平和行進」が１９日（日）野洲から守山入りしました。守山市役所では、約６０人の参加者を職員が出迎え、総務部井入次長が市長からの激励メッセージを代読されました。守山市が平和市長会議に加盟したことや、核廃絶請願署名に宮本市長が賛同署名されたことなどが報告され、ペナントも託されるなど参加者を励ましました。

日本共産党 守山民報

守山市議会議員 こまき一美
TEL･FAX 582−3785
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者 まつば栄太郎
TEL 584−3077
FAX 584−3466

日本共産党守山市委員会発行　531号　2011･6･21　TEL 583−8552　FAX 583−1098

毎週木曜日　午後5:45〜6:45　守山駅で街頭宣伝しています。